

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和4年 6月 15日	
枚方市長	殿
	提出者 住 所 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー31階 氏 名 東亜建設工業(株) 東日本建築支店 執行役員常務支店長 白川 裕康 電話番号 03-6758-2606 （担当）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	東亜建設工業株式会社 東日本建築支店
事業場の所在地	東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー31階
計画期間	令和 ⁴ 3 年4月1日～令和 ⁵ 4 年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	東日本建築支店の昨年度売上高： 360億円
③従業員数	東日本建築支店： 216名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	分別を徹底し、再資源化率の高い処分会社に処理を委託する。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項											
(管理体制図)											
社長											
↓											
本社 安全環境部 (廃棄物管理担当)											
↓											
支店長 (廃棄物処理統括責任者)											
↓											
安全環境部 (部長、廃棄物管理担当)											
↓											
各作業所 (作業所長：環境管理責任者)											
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項											
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項											
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項											
①現状											
①現状											
①現状	【前年度 (3年度) 実績】										
	産業廃棄物の種類	別紙の通り									
	排 出 量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)										
		分別を徹底し、再資源化率の高い処分会社に処理を委託した。									
②計画	【目標】		②計画								
	産業廃棄物の種類	別紙の通り									
	排 出 量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)										
		昨年度同様、分別を徹底し、再資源化率の高い処分会社に処理を委託する。									
産業廃棄物の分別に関する事項											
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)										
	排出する全品目に対し分別を徹底している。										
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)										
	昨年度同様、排出する全品目に対し分別を徹底する。										

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		①現状				①現状			
	産業廃棄物の種類									
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)									
②計画	【目標】		②計画				②計画			
	産業廃棄物の種類									
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)									
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		①現状				①現状			
	産業廃棄物の種類									
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)										
②計画	【目標】		②計画				②計画			
	産業廃棄物の種類									
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)										

②計画	【目標】			②計画							
	産業廃棄物の種類	別紙の通り									
	全 処 理 委 託 量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う 業者への処理委託 量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)										
昨年度同様、分別を徹底し、再資源化率の高い処分会社に処理を委託する。											
※事務処理欄											

今年度【平成4年度】目標

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を統括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を統括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況											(⑩ = ①-②-③-④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑪)					⑫+⑬	⑭+⑮
		①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理し た量(t)	⑤⑤のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量(t)	⑨自ら中間処理し た後埋立処分又は 海洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量(t)	委 託 先 に よ る 区 分					⑪優良認定処理業 者への処理委託量(t)	⑫の量と⑬の量を 合計したもの(自 動計算)	⑭の量と⑮の量を 合計したもの(自 動計算)
コード	名 称											⑪再生利用業者への 処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外 の熱回収業者への処理委託量(t)	⑭の量のうち、委託 して最終等の中 間処理した量(⑯ ～⑳を除く)	⑮の量のうち、直 接委託して埋立 処分した量	⑯の量のうち、優 良認定処理業者 への委託処理量		
1 0800	廃プラスチック	30	0	0	0	0	0	0	0	0	30	30	0	0	0	0	0	0	0
2 0810	木くず	30	0	0	0	0	0	0	0	0	30	30	0	0	0	0	0	0	0
3 1320	陶磁器くず	50	0	0	0	0	0	0	0	0	50	50	0	0	0	0	0	0	0
4 1322	廃石膏ボード	50	0	0	0	0	0	0	0	0	50	50	0	0	0	0	0	0	0
5 1501	コンクリート破片	100	0	0	0	0	0	0	0	0	100	100	0	0	0	0	0	0	0
6 1502	アスコン破片	100	0	0	0	0	0	0	0	0	100	100	0	0	0	0	0	0	0
7 2200	管理型混合廃棄物	100	0	0	0	0	0	0	0	0	100	100	0	0	0	0	0	0	0
8																		0	0
9																		0	0
10																		0	0
11																		0	0
12																		0	0
13																		0	0
14																		0	0
15																		0	0
16																		0	0
17																		0	0
18																		0	0
19																		0	0
20																		0	0
合計		460	0	0	0	0	0	0	0	0	460	460	0	0	0	0	0	0	0

(注1) トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

前 年 度 【平 成 年 度】 実 績

提 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
東京都新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワー 31階	東亜建設工業㈱ 東日本建築支店	安全環境部	芳賀慎治	03-6758-2606	03-6758-2610	a.hara@tea-const.co.jp

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況																
コード	名 称	①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	④自ら中間処理した量	⑤④のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら自己処理した後の処理委託量 (t)	委託先による区分					⑪優良認定処理業者への処理委託量(t)	⑫+⑬
		(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	⑭再生利用業者への処理委託量(t)	⑮熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑯熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	⑰その他の中間処理委託量(t)	⑱埋立処分委託量(t)	(t)	⑫+⑬自ら再生利用を行った量(t)
コード参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑥の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	①の量のうち、処理業者への再生利用委託量(②、④を除く)	⑥の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑥の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑦の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量(④～⑥を除く)	⑥の量のうち、直接委託して埋立て優良認定処理業者への委託処理量	⑥の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	⑥の量と⑫の量を合計したものの(自動計算)
1 0600	廃プラスチック	27	0	0	0	0	0	0	0	0	27	27	0	0	0	0	0	0
2 0810	木くず	40	0	0	0	0	0	0	0	0	40	40	0	0	0	0	0	0
3 1501	コンクリート破片	90	0	0	0	0	0	0	0	0	90	90	0	0	0	0	0	0
4 1502	アスファルト・コンクリート破片	64	0	0	0	0	0	0	0	0	64	64	0	0	0	0	0	0
5 2200	混合廃棄物	158	0	0	0	0	0	0	0	0	158	158	0	0	0	0	0	0
6																		0
7																		0
8																		0
9																		0
10																		0
11																		0
12																		0
13																		0
14																		0
15																		0
16																		0
17																		0
18																		0
19																		0
20																		0
合計		379	0	0	0	0	0	0	0	0	379	379	0	0	0	0	0	0

(注1) トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。